

代表者 3B 佐々木 琴 望
 指導者 小笠原 和 寿

はじめに

今年度はかづの学の商業領域4テーマである、①研究テーマある人集まれ！かづのの自由研究(菅原先生)②高校生による『地域コミュニティ』の活性化(今川先生)③かづの魅力発信(ふるさとアピール作戦)ふるさとCMやってみっぺ(渡邊先生)④鹿角市に移住してみませんか？(茂内先生)を商業分野としてまとめてホームページで発信するという作業に挑戦してみることにした。

I テーマ設定の理由

自分たちで調査・研究をし、それを基にホームページを作成するのであれば、内容を理解しているため構想やレイアウトが比較的やりやすいが、他人が調査・研究をしたものは、その要望に応えながら作成するのは非常に手間と労力が必要とされる。しかし、現実的にはホームページの作成または受注はこのように行われることが多い。要望を聞き入れ、依頼者の構想に沿ったものを作成しなくてはならない。将来、企業に勤め、自社のホームページを作成することになったとしても、自分の思い通りではなく、会社側の意見を取り入れながら作成しなくてはならない。このような理由から、今年度は提出された各研究データを、その担当職員や担当生徒に構想やレイアウトの要望を聞きながら、少しでも思っていたものに近い作品を作ることを第一目標とした。そして、そのために使うホームページ作成タグを模索し、試作をしていくことで自らの学習にもなることをねらいとしている。

II 実施計画

各4テーマから研究データを受け取れないことには製作が始められないことになるのだが、かと言って、私たちのために商業4チームが研究データを急いでまとめて提出してもらおうというわけにもいかなかった。そこで、まずは作業開始までの期間は自分たちでサンプルのホームページ作成を

試みて、タグの構成や、どこをどう変えれば画面上での色、フォント、ポイント、イラストの大きさ、区分線や改行などがどのように変化するかなどを試して、タグの基本構成や基本操作を学習した。

III 調査・研究内容

ホームページは特別にソフトを購入することはなく、windows がインストールされていればどのパソコンにも最初からある「メモ帳」を使い、そこにWeb ページを作成する際の記述に使用される言語である HTML といわれるマークアップ言語を用いる。この言語は見た目は大変難しそうに見えるが、基本的にく > で囲まれた命令を < / > までの間で囲むことで実行される。例えば「十和田高校」という文字をセンタリングして表示したければ、

```
<center>
十和田高校
</center>
```

となる。さらに、このまま文字を大きく(基準値は3)したければ、

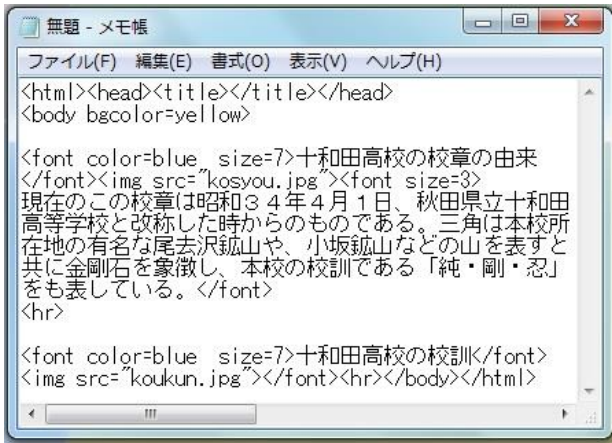
```
<font size=7>
<center>
十和田高校
</center>
</font>
```

さらに、文字を青色にしたければ、

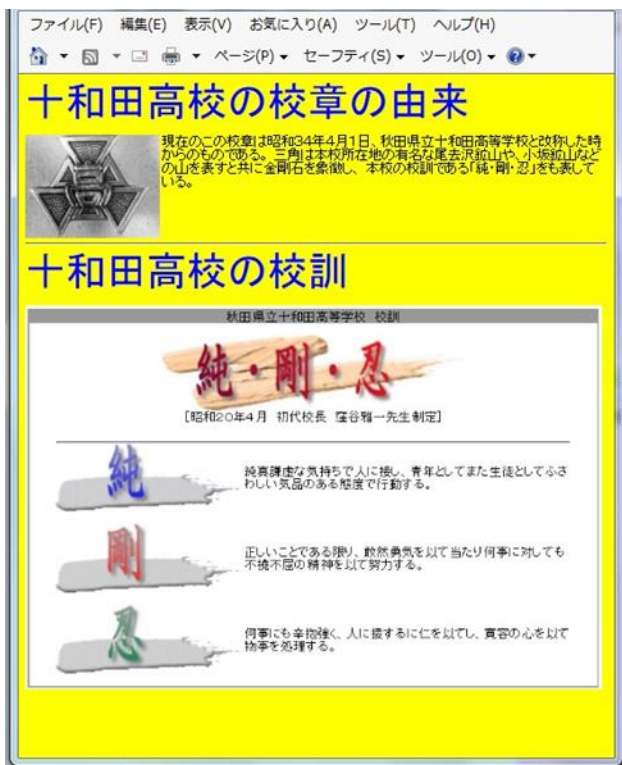
```
<font color=blue size=7>
<center>
十和田高校
</center>
</font>
```

などのように、基本的にはどんどんやりたい加を < > と < / > で囲んでいけばよい。見た目は複雑に見えるが、ひとつひとつを分けて見ていけばここではどんな加工をしているのかということが分かる言語である。

一例として次のようにタグを打ち込むと、、、



次のようなホームページ画面が出来上がる。



高価なソフトを購入しなくとも「題名」「写真」「説明文」と「区切線」「改行」程度でレイアウトし、それで十分なホームページで良ければ、このように簡単にできるのである。

今回の製作で最も工夫した点は、商業分野の4つの研究があるので、単純に上から4つを羅列しただけでは芸がないということで、メニューを作ったことである。皆さんも見たことがあると思うが、一般的に画面の上や左側にメニューがあり、そこをクリックすると画面が変わるというものである。よくある学校のホームページでたとえるなら「沿革」「行事予定」「教育課程」「部活動紹介」「PTA活動」「同窓生の皆様へ」「アクセス」などのボタンがあるそれである。

これは「フレーム設定」と呼ばれ、画面を左右2つに分け、左（メニュー）、右（表示画面）とする作り方である。少し難しくなるが、

```
<html><head><title></title></head>
<frameset cols="20%,80%">
<frame src="menu.html">
<frame src="main.html">
</frameset>
</html>
```

これで画面を2：8に分け、左にメニューだけの画面を作り、右にはクリックされた4つの研究内容をそれぞれ事前に作成しておき、ボタンをクリックすればそのページにリンクするように作っておけばよいことになる。

例えばメニューから「②高校生による『地域コミュニティ』の活性化（今川先生）」をクリックした場合は、



このように、メニュー②を選択すると、メイン画面が、その研究内容のページにリンクするように作成をしておくというものである。

この作業に挑戦したことで「メニュー画面を作っているページ」「①の研究ページ」「②の研究ページ」「③の研究ページ」「④の研究ページ」「メニュー画面とメイン画面を分割する命令」の計6つを作成することになった。グループに分け、それぞれが分担をし、短い時間で作成するのは大変であったが、それぞれの研究のレイアウトにも考慮しながら、なんとか完成することができた。

IV おわりに

普段インターネットで見ているようなカラフルな手の込んだ画面ではなく手作り感溢れるものになったが、依頼されたものを作ることと、メニューがありクリックすれば、その内容が見られるという構成のものをソフト無しで作成したことは、今後、必ず役立つと思える学習内容であった。